

令和7年度 地域連携推進会議 (共同生活援助事業) 議事録

日時：令和7年9月29日（月）9:30～12:00

場所：各グループホーム 太陽の里施設長室

出席者：利用者…石飛宏多氏 利用者家族…上野公二氏 地域関係者…佐藤貴志氏

市町村担当…出雲市役所福祉推進課 青木氏

矢野施設長 三島事業課長 共同生活援助担当福田

1、各グループホーム見学

出席者が、しんかわホーム⇒湖西寮⇒なじまホーム⇒なじまホームII⇒なじまホームIIIの順番でホームの見学を行った。

2、意見交換会

施設長室にて行う。

家族「しんかわホームの廊下は狭いと思いました。」

利用者「僕はしんかわホームに住んでいるので、他のホームを見た時に、広くていいなと思いました。」

施設「しんかわホームの廊下は、人がすれ違うことができないほど狭いのは、倉庫の前だけです。譲り合いながら使ってほしいです。」

市町村「色々な施設があって、利用者を囲って外に出さない施設もあり問題視されています。」

地域の方のご理解があって地域の方と協力して仲良くやっていることが分かり、共存できていると思います。」

地域「出雲市内にどれぐらいの施設がありますか？」

市町村「グループホームは出雲市内に50か所ぐらいあります。入所施設は7か所ぐらいかな。」

入所は希望を出して順番待ちになっているが、グループホームは、空き情報を市が把握できていない状況であり、今後どうやって情報提供していくか課題である。グループホームの待機者はいるのかニーズの把握をして足りているのか、システム化していきたいと考えています。」

施設「グループホームの空きがあるのか問い合わせがあります。利用者の自立を目的にしているのか、家族の意向なのか、相談員が先を見据えての要望なのか、確かな情報の共有ができたら良いと思います。」

市町村「入所は国の方針もありますが、5年待ちで足りていない状況です。」

家族「なじまホームを出てすぐの道路は、スピードを出す車もいて怖いと思った。気をつけてほしいですね。」

施設「職員も毎日のようになじまホームに出入りをしており、危険を感じたことがあります。」

利用者のみなさんにも日頃から、気を付けるように声掛けをしています。私たちも車の運転に気を付けています。」

最後にみなさんから感想を述べてもらう。

地域「グループホームがあることは知っていたが、ホームの中は初めて見させてもらいました。皆さん、規律正しく生活しておられる様子を伺いました。食堂をはじめ、ホームの中をいつも掃除してきれいにしておられますね。世話人も調理から利用者の支援、掃除などやっておられ大変な仕事だと思いました。」

利用者「他のホームを見ることができてよかったです。上野くんは部屋をとてもきれいにしておられ、ぼくもちゃんとしないといけないなと思いました。」

家族「しんかわホームも湖西寮も、民家の中にあります。どのホームも近所の方とうまくやつておられるようで、保護者として安心しました。」

市町村「グループホームの利用者さんは、ほとんどの方が通所で作業や仕事に出ておられます。太陽の里では主に農業の作業をしておられます。楽しそうにやっておられるのが印象的でした。」

市としても情報の共有化に取り組んでいきたいと再度、思いました。」

施設「地域連携推進会議は、今年度初めての試みでした。利用者の参加もあり、石飛さんも他のホームの見学をして他のホームの暮らしを知ることができて良い経験になったと思います。」

来年度も継続して行われます。地域の方とのコミュニケーションをとるよい機会となり充実した会議にしていきたいです。」

施設「構成員のみなさん、構成員を快く引き受けて下さりありがとうございました。

グループホームの中を見てもうことで生活の様子が分かったのではないでしょか。

世話人も朝夕の食事作りだけではなく、休日は支援員として勤務する日もあります。

地域の方のご理解で地域の一員として、みんなが気持ちよく楽しく生活させてもらって
います。

引き続きご指導のほどよろしくお願ひいたします。」

以上で閉会した。